

―― 校長あいさつの要旨 ――

1 学校経営の方針

- ・人が最大の環境である。最大の環境である「人」とは、教室においては「担任」であるとの姿勢で教育活動に当たっている。
- ・また、最大の環境である「人」とは、家庭においては「保護者」である。学校教育活動、PTA活動との両輪で児童の教育に努めてまいりたい。

2 学校運営ビジョン

- ・「基礎的・汎用的能力を高めることが生きる力を高める」という理念を掲げ、本年度教育目標を刷新した。「今の自分から→なりたい自分へ」というスローガンと、評価結果を次の活動に生かすRVPDCAマネジメントサイクル・改善検証を通した教育活動を推進することは継続している。
- ・教育目標の具現、評価結果を次の活動に生かすRVPDCAマネジメントサイクル・改善検証を通した教育活動を推進を図るために、『授業の充実を図る』こと、『あいさつの充実を図る』ことも継続している。あいさつは心のバロメーターであり、子どもの目を見れば、その授業への期待度や満足度も分かる。授業への向き合い方、振り返りの場面などでの児童の表情を大切にしたい。
- ・要となる学校行事が肥大化しており、新学習指導要領の円滑な実施に向け、棚倉町主催のキャラ教育推進事業、本校主催のキャラ教育推進事業を明確化し、幼・小・中一貫した系統性のある体験活動となるよう整えた。地域人材や地域資源を生かした豊かな体験活動となるようになるようにしたい。

3 キャリアサポートの活用

- ・二学期制の良さを生かし、年間を四半期ごとに分け、児童の学びを児童自身が振り返る時と場を確保した。児童が目標に掲げていることやその実現に向けて努力していることなどについてキャリアアパスポートに記入する。これに教師の支援や指導などが記入され（これががほめポイントとなる）、それを児童が家庭に持ち帰り、保護者がコメントを記入する。児童は自己を振り返った結果や教師、保護者の助言を次の四半期に生かした計画に改善し、実行することが可能になる（年4回の実践が可能となる）ため、通知表の見直しをする。

4 家庭との連携

- ・児童が家庭において宿題を行う様子を保護者が見取ることがこれまで以上に大事になってきたと感じる。「水曜8時だよ全員集合」などを利用して児童の学びの実態を把握されたい。
- ・「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、社川小学校運営協議会の委員に1学年及び4学年のPTAの学級委員長を推薦したい。これにより運営協議会委員における女性の割合も高めたい。

1、2 学校経営の方針と学校運営ビジョン

私が本校に赴任して1年が経ちました。この間、臨時休業や感染対策、新しい生活様式の導入、教育課程の適切な管理など、多くの課題を抱えることになりましたが、大河内PTA会長をはじめ、会員の皆様の多くの支えにより、なんどか令和2年度を終えることができました。令和3年度になり、盤石のサポート体制は鈴木PTA会長に引き継がれ今日を迎えることができました。このところの新型コロナウィルス感染症の状況を見ますと、新聞報道によれば、児童が感染し、臨時休業もあるようです。学校だよりもお伝えしましたが、日頃からの予防対策、その上での検温を始めとする健康管理、発熱や風邪症状時の対応など、これからもご協力を賜りたいと存じます。

昨年度は新型コロナウィルス感染症感染拡大防止のため、平日に換算して16日の臨時休業期間が設けられました。授業の遅れを取り戻すべく、臨時休業期間中の一斉登校や分散登校、夏季休業期間に平日8日間の授業実施など、授業時間の確保に努めてまいりました。また、各種マニフェストや地教委など関係機関の皆様から助言を受けながら、学校生活を見直し、地域の感染レベルを考慮しながら感染対策を施し、学校行事も学年やブロックを中心としたものに再編するなどし、可能な限り教育課程の実施に努めてまいりました。

令和2年度の教育活動の様子



下学年商中ソーランmini：そろいの法被で元気一杯 上学年鼓笛演奏：指揮に合わせ素晴らしい演奏でした スポーツフェスティバルは大きめ自信になりました

本町、本校はキャラリア教育を基盤とした教育活動を推進しています。私も着任に際し、「基礎的・汎用的能力を高めることが生きる力を高める」という理念を掲げました。その実現に

向け、「今の自分から→なりたい自分へ」というスローガンと、評価結果を次の活動に生かすRVPDCAマネジメントサイクル・改善検証を通じた教育活動を推進することに意を用いています。

また、私たちがこの教育活動を推進するために、「授業の充実を図ること」と「あいさつ授業を通して子どもに力はついたのか？」という2つの柱を立てました。
「あいさつとは心のバロメーターであると考えます。「もう終わり?」「まだやりたい!」子どもは正直です。子どもの目を見れば、その授業への期待度、満足度は分かってしまいます。あいさつを通して充実した教育活動が展開できるかも分かってしまいます。
しかし、こんなことはどこの学校でもやっていることで、別に社川小学校でなくてもできることです。

教育とは何か？

私にとって教育とは人づくりです。年度初めの職員会議において、「人が最大の環境である」という意識をもつて臨みたこと、児童にとってのロールモデルとは何かを一緒に考え、実践していきたいことを教職員に伝えました。教育活動は教職員を介して行われることを踏まえた上で、その「人」の最たるは教員なんだ、そういう意識で臨みたいと言葉を重ねました。そして、お手本となる魅力ある教員を育てるため、自分の専門や興味のあることや、教科のおもしろさを伝えることを忘れないうにしたいです。

保護者の皆様へ

最大の環境である「人」とは、家庭においては「保護者」になります。保護者の皆様にどうぞ家庭とは経済活動や社会貢献活動などにより疲れた体と心を休める場でもあることは重々承知したうえで、未来の社会人や家庭人となる子どもたちによい見本やお手本を示していただきたいです。
※保護者の皆様の趣味や生きがいなどをお子さんと共有することも良いお手本です。

棚倉町は福島県内におけるキャリア教育のトップランナーです。様々な方面から注目を集めています。しかし、その偉大なトップランナーであっても、その活力を維持するためには研修と検証が必要です。駆け抜けてきた8年をプラスアップし、さらに持続可能なプログラムに仕上げることが求められていると感じます。

「何をしたのか」ではなく「何を学んだのか」
「何ができる」ではなく「何が得られる（身につく）のか」

この活動に参加して、どんなことを学びましたか？

この活動に際して、あなたは誰と学びましたか？

この活動に際して、あなたがお手本とした人は誰ですか？

これを次のように簡略化したいと思います。

- 自ら学ぶ
- 共に学ぶ
- 真似て学ぶ（まねて学ぶ）

学校は「人生の基盤をつくる学びの場である」という考え方を立ち、学びを上記3つの視点で学ぶ側が自らの学び方を問い合わせます。

- 自分は自ら学んだか？
- 自分は誰と学んだのか？
- 自分はお手本通りに（計画どおりに）学べたか？
- 肯定的な答えが得られなかつたら、それはなぜか？

ここに基礎的・汎用的能力を当てはめます。

- | | | |
|----------------------------|----------------|-------------------------------|
| * 人間関係形成・社会形成能力···他者を理解する力 | 他者に働きかける力 | コミュニケーション |
| チームワーク | リーダーシップ | 社会性 |
| * 自己理解・自己管理能力······ | 主体的行動(自主性) | 自己の役割 前向きに考える力 忍耐力 |
| 自分の動機づけ | ストレスマネジメント | |
| * 課題対応能力······ | 情報の理解 選択 | 本質の理解力 原因の追究力 課題発見力 |
| 計画立案力 | 実行力 | 評価・改善力 プрезЕНТーション |
| * 将来設計能力 | 学ぶことの意義や役割の理解力 | 働くことの意義や役割の理解力 動くことの意義や役割の理解力 |
| キャラリアプランニング能力··· | 選択力 行動力 改善力 | 多様性の理解力 |

基礎的・汎用的能力が高い集団は、学びが充実しやすい。これを私は俗っぽく「いい学級（学級力が高い学級）」は授業がしやすい」とことは普遍的な事実。「いい学級とは基礎的・汎用的能力が高い（資質・能力が高い）学級集団のこと」。まとめると、「キヤリア教育を推進するといい学級集団を育てやすくなり、いい学級集団と授業をすると授業は自ずと楽しくなる。結果、学びが深まる。」だから、「キヤリア教育を推進すると授業が楽しく、よくわかるようになるんですよ」と、キヤリア教育になじみの薄い方にはこのように説明しています。そしてこれこそが（自身の経験に裏打ちされた）ビジョンに掲げた理念『基礎的・汎用的能力を高めることが生きる力を高める』の根柢にもなっています。

保謹者〇皆様へ

「最も環境でいる一人」とは、家庭においては「保護者」になります。保護者の習慣にどつて家庭では経済活動や社会貢献活動などにより疲れた体と心を休める場でもあることは重々承知したうえで、未来の社会人や家庭人となる子供たちによい見本やお手本を示していくだけれどがたいです。

※保育者とのコミュニケーションを取ることで、お子さんと共有することができます。

現在学校にはたくさんの「〇〇教育」なるものがあります。それゆえ教育活動が複雑化して本来の目標や目的から外れてしまっている活動もあります。活動しても、結果として児童が自ら学ばない、共にも学ばない、手本もないなら、そんな活動は外してもいいのです。また、本日お集まりになった保護者の皆様が興味のあることは、「社川小学校はどうな学校で、何を大切にし、変化の激しい社会はどう向き合っていく子どもを育てようとしているのか」ということではないでしょうか。

私たちの目的は教壇に立つ教師にとつて聞き分けのいい子を育てることではありません。社会に貢献する自立した人間になるための基盤をつくること。社川小学校の教職員はその情熱にあふれています。その情熱がよい教育を実践し、よい児童を、ひいてはよい人間を育てるものと信じます。そして、愛情と情熱を注がれた人間は、必ずや周囲の人びとに愛情と情熱を注ぐ力のあることだと自信じで信じます。

本日私たちは、そのような教職員のみならず、様々な分野でご活躍されている保護者の皆様とご一緒する機会を得ています。よりよい教育を介してよりよい社会を創る。小学校はその基盤をつくる学びの場であり、小学校にお見えになる全ての方々が児童にとってのよきお手本となる。私の目の前にいらっしゃる皆さまを、よりお手本とするべき所です。

キャラクタ教育はお手本教育。また、生き方教育でもあります。そのような気概をもつた教職員の集う職場が社川小学校であり、社川小学校に来るとたくさんのお手本に出合える。そりな学校を、本校教職員と創つてしまいたいと思う。私は日々強くしております。

保護者の皆様へ

以上のことから教育目標を新しいものにいたしました。

<input type="radio"/> 自立の気風
<input type="radio"/> 自ら学ぶ
<input type="radio"/> 共に学ぶ
<input type="radio"/> 共真似て学ぶ

我が子に対し、将来、社会的にも経済的にも自立した大人になつて欲しいといふのは保護者共通の願いだと思います。学校はそのための基盤をつくる学びの場です。授業や行事、体験活動などにおいて、学びの主体者である児童自身が、この教育目標の末尾を「んでる？」に変えることで、児童自らが評価可能なものになりました。私は始業式で児童に新しい教育目標の話をした際、次のような表現を使いました。

- 先生（やお家の人に）に言われず自ら学んでる？
- 隣の席の人や学級のみんなと一緒に学んでる？
- （勉強も含めて）活動するとき、計画やお手本はある？

保護者の皆様もお子さんに学びの様子を尋ねるときの参考になれば幸いです。

3 キャリアパスポートの活用

(3学期制の教育課程)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1学期				2学期				3学期			

- ・各学期の末に「通知表」という形で学びの結果が児童（保護者）に渡される。
- ・結果を手にし、「ああしよう」「こうしよう」という思いを抱くものの、学校が休みとなるので授業で修正案や改善案を試すことができない。

(2学期制の教育課程)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期前半				前期後半				後期前半			

- ・各学期の末に「通知表」という形で学びの結果が児童（保護者）に渡される。
- ・結果を手にし、「ああしよう」「こうしよう」という思いを次の学期に生かすことができる。
- ・しかし、2学期制のためRVPDCAマネジメントサイクルを2回しか実践することができない。

(1年間を四半期ごとに分け、キャリアパスポートを活用した2学期制の教育課程)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期前半				前期後半				後期前半			
第1四半期				第2四半期				第3四半期			
第4四半期											

- ・各学期の末に「通知表」という形で学びの結果が児童（保護者）に渡される。

- ・四半期ごとに自己の学びをキャラリアパスポートで振り返る。
- ・第1四半期を例にすれば、結果を手にし、「ああしよう」「こうしよう」と思い至つた自己の改善点を7月からの第2四半期に生かし、備えをして夏休みに臨むことができる。
- ・四半期に分けたのでRVPDCAマネジメントサイクルを4回実践（3回の改善）することができる。

保護者の皆様へ

キャラリアパスポートは小学校から中学校まで一貫して引き継がれます。このことは児童が大切にしていることや児童の学びの足跡、その時の担任や保護者の思いや願い、助言や指導内容が今の担任から次の担任に確実に引き継がれるということを意味します。このように引き継がれたキャラリアパスポートを新年度前に読んでから児童に向き合ふことができれば、これまで以上に児童のよさや可能性を引き出しあななるものと考えます。

保護者の皆様へ

本年度、社川小学校では『1年間を四半期ごとに分け、キャラリアパスポートを活用した2学期制の教育課程』を実施します。上記内容が満たされたら、通知表の学校からの通信欄と家庭からの通信欄の役割はキャラリアパスポートが担うことになります。キャラリアパスポートの機能と役割を果たすことができるように、通知表を見直します。

4 家庭との連携

新学習指導要領の完全実施に伴い、学んで得た「知識・技能」を「授業の中で生かす場」を確保することが求められています。（ゆとり教育の背景は知識基盤社会を生き抜く子どもたちに教育内容を厳選し、厳選した知識及び技能を確実に習得させることでした）そのため宿題などにおいても予習的な内容を課し、宿題の内容が次の時間の導入に入ることで生かされたり、家庭学習の中にもワークやドリル、反復学習など定着に要する課題が出されています。そのため、児童が家庭において宿題を行う様子を保護者が見取ることがこれまで以上に大事になつてきました。自分の子は教科書をどの程度読めているのか、プリント1枚仕上げるのにどれくらいかかるのかなどについて、今まで以上に関心を寄せたいだと強く思います。「水曜8時だよ全員集合」などを利用してお子さんの学びの実態を把握されますようお願いいたします。

最後に新学習指導要領の前文よりその一部を抜粋します。

新学習指導要領の前文（抜粋）

これからの中学校には、こうしたよさや可能性を認識するなどとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な挑戦しながら様々な他競争と協働しながら、社会的変化を乗り越えていくことが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。

教育課程を通して、これからの中学校に求められている教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、そのような学習内容をどのように学び、どのような学習過程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

この「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、社川小学校運営協議会の委員に1学年及び4学年のPTAの学級委員長を推薦し、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を共有し、社川小学校の教育課程を通して児童の自己実現を図りたいと考えます。